

第20回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

埼玉県県土整備部道路街路課・川越市建設部街路課

川越都市計画道路事業3・4・3号
中央通り線ほか6路線

表彰事業名	川越都市計画道路事業3・4・3号 中央通り線ほか6路線		
表彰対象者	埼玉県県土整備部道路街路課・川越市建設部街路課		
都市名	川越市	事業主体	埼玉県・埼玉県川越市
事業概要	川越市の「歴史的地区環境整備街路事業地区」（約130ha）内にある約7.8haのエリアは、重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、明治初期から末期に建築された重厚な蔵造りの町家を中心とした歴史的建造物が数多く保存されている。この地区の中央に位置している中央通り線を整備することにより、街区道路6路線を含め、歴史的な町並みや道すじの保全・地域の魅力の向上や活性化を図ろうとするものである。 昭和63年度に、地元住民によるまちづくりの協定「町づくり規範」が策定されて以来、本路線では電線類地中化、町並みの保存のための都市計画幅の縮小変更などを行ってきており、今回、中央通り線においては、歩道の幅員を確保する目的から車道幅員を必要最小限とし、歩道を石張り舗装の整備を行った。周辺の街区道路についても、電線類地中化及び石張り舗装の整備を行った。 ○事業延長：1,301m（411m） ○総事業費：約11.3億円（約1.8億円） （ ）書きの数字は、中央通り線のものである。 ○幅員：4～11m（9～11m） ○事業年度：平成元年度～平成18年度		
表彰理由	本事業の完成により、街区道路6路線を含め、歴史的な町並みの保全、地域の魅力の向上、活性化などが図れたことが高く評価された。 また、歴史的な街並み保全に向け、地元住民と一体となった委員会の設置や街づくりの規範を制定し、約20年の歳月をかけ、粛々と整備を進めてきた事業者の姿勢なども高く評価された。 さらに、今後の街づくりの見本となる歴史的な街並み形成の事例としても高く評価された。		

